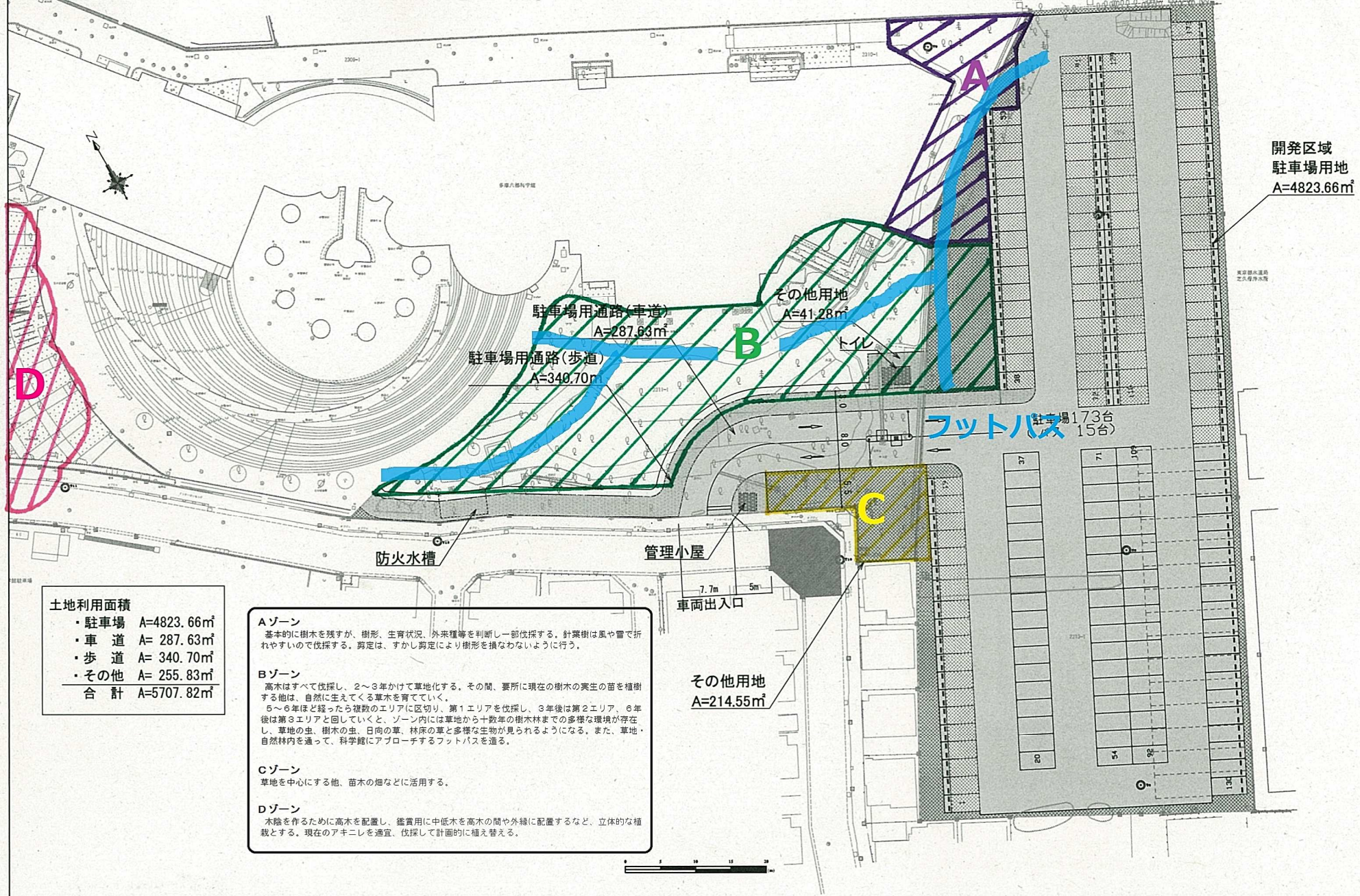


多摩六都科学館 緑地等整備・保全ゾーニングプラン

多摩六都科学館駐車場

土地利用構想図



土地利用面積

- ・ 駐車場 A=4823.66㎡
- ・ 車道 A= 287.63㎡
- ・ 歩道 A= 340.70㎡
- ・ その他 A= 255.83㎡
- 合計 A=5707.82㎡

Aゾーン

基本的に樹木を残すが、樹形、生育状況、外来種等を判断し一部伐採する。針葉樹は風や雪で折れやすいので伐採する。剪定は、すかし剪定により樹形を損なわないように行う。

Bゾーン

高木はすべて伐採し、2～3年かけて草地化する。その間、要所に現在の樹木の実生の苗を植樹する他は、自然に生えてくる草を育てていく。第1エリアを伐採し、3年後は第2エリア、6年後は第3エリアと回していくと、ゾーン内には草地から十数年の樹木林までの多様な環境が存在し、草地の虫、樹木の虫、日向の草、林床の草と多様な生物が見られるようになる。また、草地・自然林内を巡って、科学館にアプローチするフットパスを造る。

Cゾーン

草地を中心とする他、苗木の畑などに活用する。

Dゾーン

木陰を作るために高木を配置し、鑑賞用に中低木を高木の間や外縁に配置するなど、立体的な植栽とする。現在のアキレを適宜、伐採して計画的に植え替える。

